

ななむら

第69号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和3年3月1日現在

世帯数 531世帯

人口 1,467人

(男680人、女787人)

『メディカルヨガ教室』再開！

3月16日（火）積雪があるため中断していましたが「メディカルヨガ教室」を再開しました。

8人の参加と非常に少なく残念に思っていました。初めての方が2人いました。それも、今まで「メディカルヨガ教室」に参加がなかった切畑と多子の方でした。今参加している方に誘われたのかなと思いましたが、自主的に参加されたようでした。本当に嬉しく思いましたし、大変いい傾向だなと感じております。もっともっと全集落から来てもらえたらと思います。

このコロナ禍で自宅にすることが多くなり、体調不良になった方がたくさんいるということを目にします。

皆さん、万全の感染対策をして、ストレス発散と健康管理をするためにも「メディカルヨガ教室」に参加しましょう。

参加したいという方が何人もいることは聞いています。恥ずかしくありません。私がやっているくらいですから。「恥ずかしい」を取るか「健康」を取るか……。もちろん「健康」ですよね！



＜4月の予定＞

日時：4月20日（火）
午後7時30分～
場所：「照来地区公民館」

照来小学校の卒業式が行われました！

3月23日（火）照来小学校の卒業式が行われ、7名の児童が卒業されました。

コロナ禍の中ということで、最少人数での卒業式となりましたが、卒業生の皆さん、そして保護者の皆さん、先生方、それぞれ色々な思いがあったのではないのでしょうか。しかし、いい経験にもなりました。この経験を活かして前向きに頑張っていきましょう！

私は、3月19日に行われた第93回選抜高校野球大会の開会式で、宮城の仙台育英高校キャプテン島貫丞選手のすばらしい選手宣誓を聴いて非常に心を打たれました。その一部を紹介します。『この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことでした。しかし、同時に多くのことを学びました。当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っているということです。』正に、卒業生の皆さんに送りたい言葉です。

＊ご卒業おめでとうございます＊

6年という歳月は、皆さんに多くのすばらしい思い出を与えてくれました。

その思い出の中にある嬉しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと、その全てが大切な宝物だと思います。

この宝物を胸に、夢が丘中学校という新しい環境の中でも皆さんが大いに励んでいくことを応援します。

『行き詰まりは展開の一步である』

照来地区公民館長

忘れない

感謝の言葉

ありがとう

ちょっと調べてみました！



[令和2年4月1日現在]

項目	切畑	多子	桐岡	丹土	中辻	塩山	飯野	合計
人口	118人	182人	140人	288人	166人	230人	377人	1,501人
世帯数	49戸	67戸	57戸	102戸	61戸	70戸	131戸	537戸
高齢化率	47.46%	42.31%	37.86%	43.75%	48.19%	34.78%	40.05%	41.51%
子どもの数	3人	23人	10人	29人	10人	23人	40人	138人
農用地面積	22.4ha	24.6ha	9.4ha	44.4ha	37.4ha	41.8ha	50.0ha	230.0ha
ため池の数	6箇所	6箇所	0箇所	2箇所	4箇所	14箇所	5箇所	37箇所
軽自動車所有台数	80台	96台	53台	146台	81台	141台	188台	785台
犬の数	2匹	4匹	2匹	8匹	2匹	8匹	15匹	41匹

※子どもの数は15歳未満の数

※農用地面積は農業振興地域内の面積



照来の歴史 (23) 桐岡 『米かみ岩』

「米かみ岩」のことについては、昭和63年発行のふるさとの記録「きりおか」に次のように記されている。『桐岡区有地大城1684と多子区有カイナガオの境（健康公園内）に「米かみ岩」がある。岩の大きさは、4m×6m約何百トンの巨岩である。その岩に向って右側があたかも人の口もとに似ていて昔から名山節に唄われている。

♪ 桐岡名山米かみ岩マダマダ
年の良いときや唇白い
年の悪いときや唇黒い
サアサ不思議じゃマダマダ

この「米かみ岩」が照来七不思議の一つ？

上唇、下唇に短い苔が生えていて天気続きの年は苔が黒く伸びることから、昔、住民が豊凶の目じるしにしていたものだろう。

この地は湯区領で、明治20年末期まで年貢を支払って芝草薪取りをしていたが、明治28年買い求めたものである。

戦前は一帯を開墾畑としていたが、戦後雑木に埋もれ蔦や葛に巻かれていた。岩の上側に渋柿の木があったが、健康公園となった今、昔の面影はない。』

また、「但馬・温泉町の民話と伝説」にも次のように載っている。

『中山の桐岡と多子の境に、「米かみ岩」という岩があったそう。その岩の形がちょうど鳥の口ばしに似ていて、その口にうすい苔が一面に生えていた。春に苔が白い年は豊作だった。そして、ちょうど米をくわえているように見えた。』

先日、写真を撮りに行った際には、苔は見えませんでした。白い唇をしていたので、今年は良い年で豊作のようです。皆さん期待してください。

